

STAR

取扱説明書・部品表

ディスクハロー

製品コード	K25062	・ K25063
型式	MTH2400	・ MTH2410
部品供給型式	ATH2400-01	
製品コード	K25064	・ K25065
型式	MTH2800	・ MTH2810
部品供給型式	ATH2800-01	

カバーディスクアタッチメント

製品コード	K25071	・ K25072
型式	ACD1600	・ ACD1610

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

▲ 危険

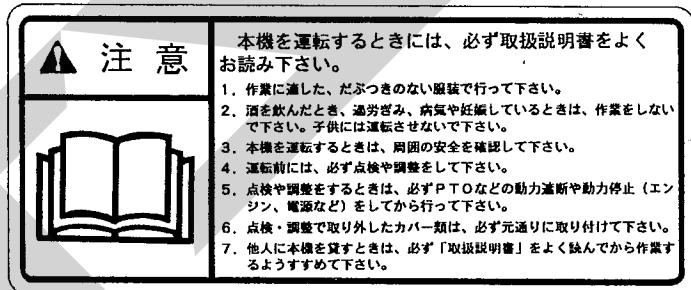
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

▲ 警告

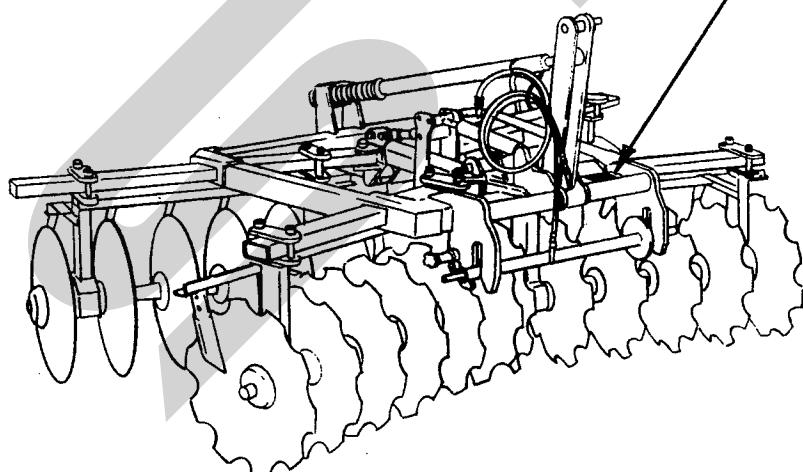
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

▲ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106164



— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、作業機およびトクラタの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してから行ってください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。

次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。

次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないもの

を着用する。

□ 帽子を着用する。

□ はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。

取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

機械の改造はしないでください。

アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。

部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検をする時は

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。

作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。

運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。

- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。

主変速レバーを「N」（中立）にして行ってください。

- 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

- 室内で始動する時、排気ガスにより中毒になることがあります。窓、戸などを開け、十分に換気してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをすることがあります。トクラタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こすことがあります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となり、思わぬ事故をまねくことがあります。トラクタヘバンパーウエイトを取り付け、バランスを取ってください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起こり、思わぬ事故をまねくことがあります。ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをすることがあります。トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。
- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。急制動・急旋回はしないでください。

- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こすことがあります。

低速走行してください。

- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に対する接触やケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをすることがあります。

周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って下さい。

- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。

路肩は走行しないでください。

- 高低差の大きい段差を乗り越えようとするとき、トラクタが転倒あるいは横転し、ケガをすることがあります。あゆみ板を使用してください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。

また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせることがあります。

作業機の上には、人や物などはのせないでください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。

- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。

また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせることがあります。

作業機の上には、人や物などはのせないでください。

- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができるず、思わぬ事故を起こすことがあります。

前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。

- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こすことがあります。

しっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、エンジンをとめずに作業すると、第三者の

不注意により、不意にトラクタが発進し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。

トラクタから離れる時は――

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

終業点検をするときは――

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。
作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- エンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意にトラクタが発進し、思わぬ事故を起こす事があります。
エンジンをとめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。
下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換してください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。

もくじ



安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	4
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	4
作業中は	3		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	7	4 トラクタへの装着	9
2 適応トラクタの範囲	8	1. 3点リンクへの連結	9
3 組立部品	8	2. 油圧ホースの連結	9

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	9	2 エンジン始動での点検	10
1. トラクタ各部の点検	9		
2. 連結部の点検	9	3 給油箇所一覧表	10
3. 製品本体の点検	10		

3

作業の仕方

1 本機の使用目的	12	3 各部の調整	13
2 作業要領	12		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ 14	3 長期格納する時 14
2 トラクタからの切り離し 14		

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表 15
-----------	----------

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表 16
-----------	----------

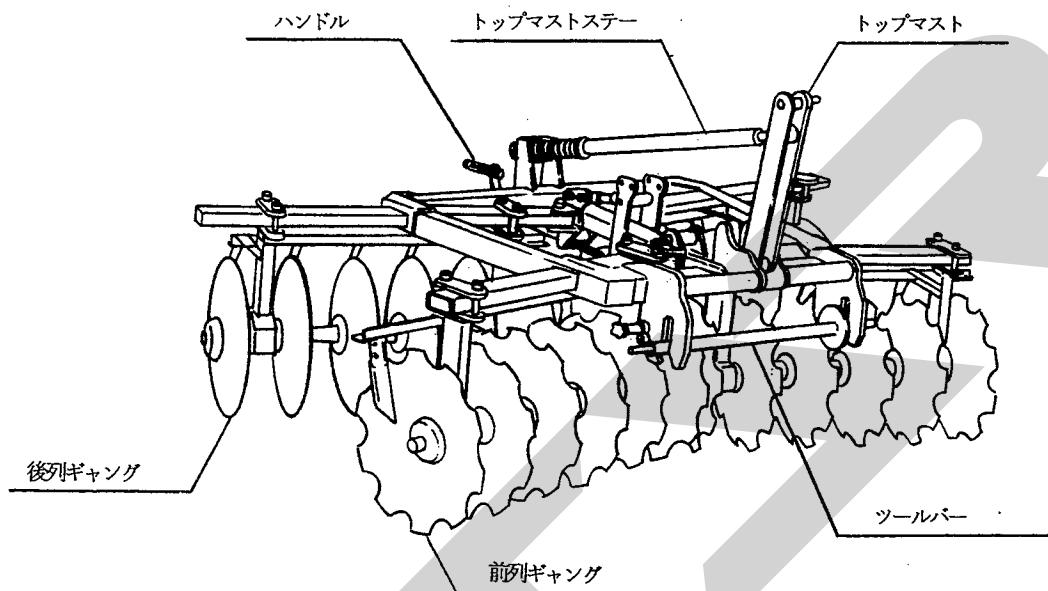
7 部品表

17

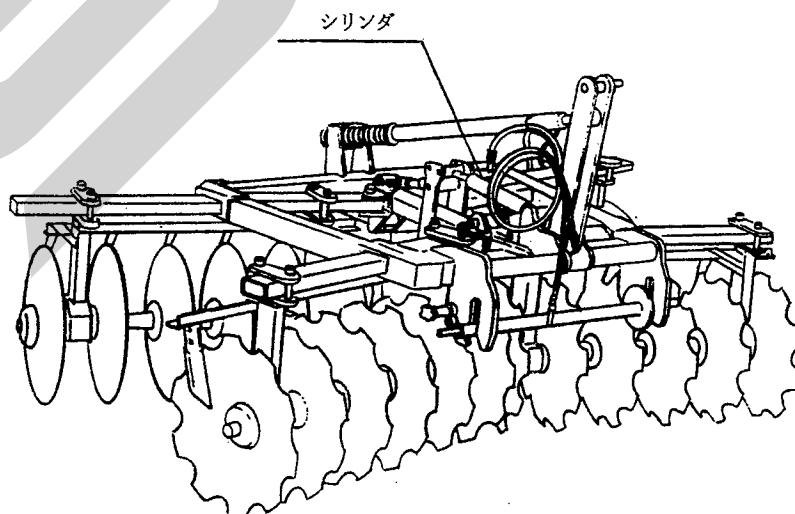
1 トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき

MTH2410の場合



MTH2400の場合



- ツールバー：トラクタロワーリング部と本機を接続します。
- 前列ギャング：前列にあり、土壤を碎土する円盤部です。
- 後列ギャング：後列にあり、土壤を碎土均平にする円盤部です。
- ハンドル：手動でギャング角を調節します。
- シリンダ：油圧でギャング角を調節します。

2 適応トラクタの範囲

▲ 注意

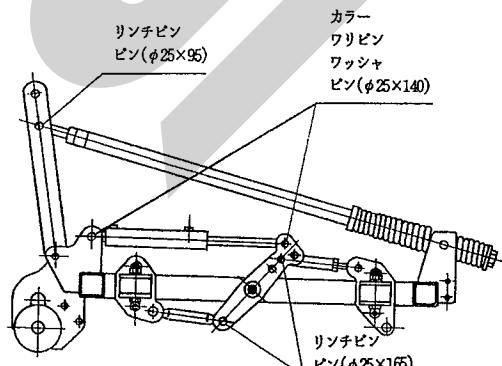
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねくことがあります。
トラクタヘフロントウエイトを取りつけ、バランスを取ってください。

型 式	適応トラクタ馬力 (PS)
MTH2400・MTH2410	50 ~ 80
MTH2800・MTH2810	65 ~ 100

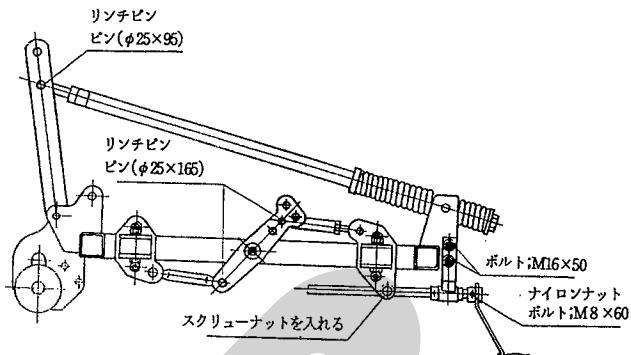
3 組立部品

1. ディスクハローの組立

- MTH2400・2800の場合はトップマストステー・ロッド; A・ロッド; B・シリンダを下図の通り組立ててください。



- MTH2410・2810の場合はトップマストステー・ロッド; A・ロッド; B・スクリューシャフトを下図の通り組立ててください。



2. オプション品の組立

- カバーディスクアタッチメントの組立(別売)
本作業機にはカバーディスクアタッチメントを取り付けることができます。

このアタッチメントを取り付けることにより、ディスクハロー外側の円盤溝を解消し、整地効果を増大させます。

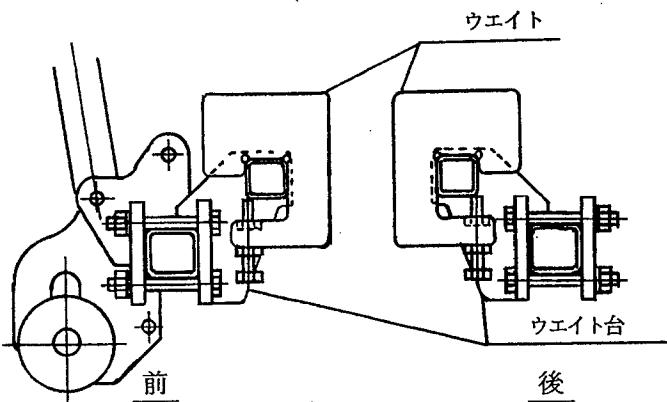
ギャング部のギャングシャフトを抜きカバーディスク及びスプールを組み込んだアタッチメントのギャングシャフトをギャング部に取り付けてください。

- ウエイト台・ウエイトの組立(別売)

本作業機にはウエイト台及びウエイトを取り付けることができます。

この部品を取り付けることにより重粘土地等でディスクの貫入深さを増すことができます。ウエイト台は4組まで作業機に装着でき、ウエイト台にはウエイトを3個まで取り付けできます。

下図の通り組立ててください。



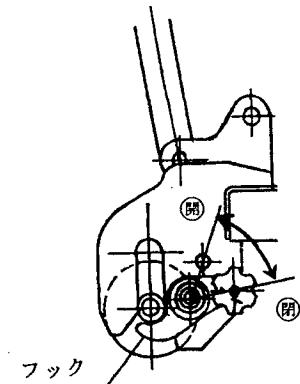
4 トラクタへの装着

1. 3点リンクへの連結

作業機をトラクタに装着する際には、必ずトラクタのエンジンをとめ、平坦な場所で行ってください。

円盤刃先への接触には特に注意してください。

- (1) 左右のフックを“開”的位置にロックします。



- (2) ツールバーをトラクタのロワーリングに取り付けて、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをツールバーに差してください。

- (3) トラクタをバックさせ、油圧レバーを操作して、ツールバーを作業機の受部に入れます。
- (4) 左右のフックを“閉”的位置にロックし、トップリンクを取り付け、抜けどめにトップリンクピンにベーターピンを差します。
- (5) 作業機が左右の方向に水平になるように、トラクタ右側のアジャストスクリューでロワーリング高さを調節してください。
- (6) 作業機が左右に振れないように、スタビライザ（又はチェックチェーン）を両側にセットしてください。
- (7) 油圧で1～2回上下操作して、正常に作動することを確認してください。硬い床面に急激にディスクを落とさないように注意してください。
- (8) トラクタ前輪荷重が少ない場合は、トラクタ前部にウエイトを装着してください。

2. 油圧ホースの連結 (MTH2400・MTH2800)

MTH2400・MTH2800はギャング角調節をトラクタ外部油圧を利用しているので、トラクタに複動油圧取出口1系統が必要です。

- (1) 作業機のカプラをトラクタの油圧取出カプラに接続してください。
尚、作業機側カプラは $\frac{1}{2}$ オスとなっています。
- (2) 油圧ホースが作業機の円盤あるいはトラクタのタイヤに接触しないようにトップマストのホース受に固定してください。

2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

(1) 3点リンクの連結部点検

- ① ツールバー・トップリンクピンのリンチピン
・ベーターピンは、確実に挿入されているか。
- ② チェックチェーンは張られているか。

③ 不具合が見つかった時は、「1-4 ト
ラクタへの装着」の説明に基づき不具合を
解消してください。

- (2) 油圧ホースの点検 (MTH2400・MTH2800)
- ① 油圧ホース金具に傷はなく、油漏れはないか。
不具合が見つかった時は補修・部品交換して
ください。
- ② ホースのたるみで、トラクタに巻き込まれたり、干渉したりしていないか。
また、ホースと円盤が接触していないか。
不具合が見つかった時は「1-4-2 油
圧ホースの連結」の説明に基づき不具合を
解消してください。

3. 製品本体の点検

- (1) 円盤に緩みが生じないようにギャングナットは締っているか。
不具合が見つかった時は増し締めしてください。
- (2) ボルト・ナットに緩みはないか。
不具合が見つかった時は増し締めしてください。
- (3) 油圧系統に油漏れはないか。
不具合が見つかったら補修もしくは部品交換してください。
- (4) 各部の給油・注油は十分か。
不具合が見つかったら「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油してください。
- (5) 円盤は回るか。
不具合が見つかったら「6-1 不調処置一覧表」に基づき処置してください。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

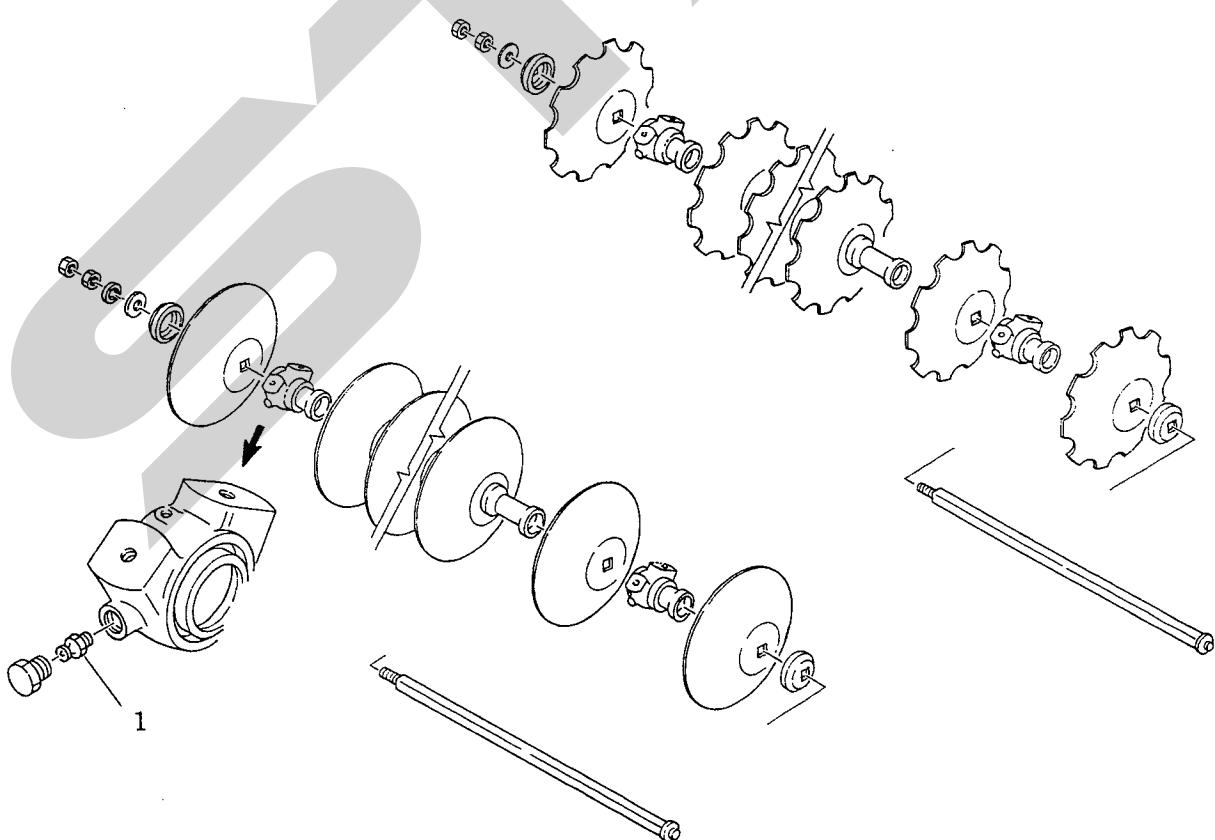
トラクタ油圧を操作し、3点リンクを上昇し、作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常ありません。

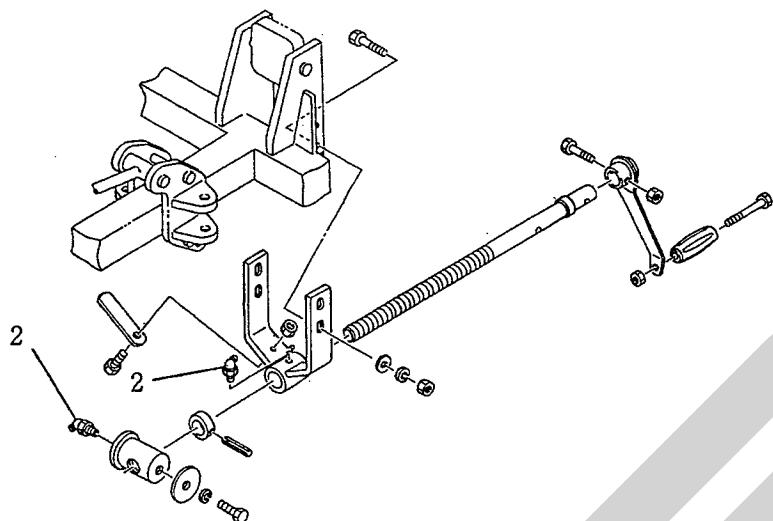
トラクタ油圧系統などに異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3 純正部品一覧表

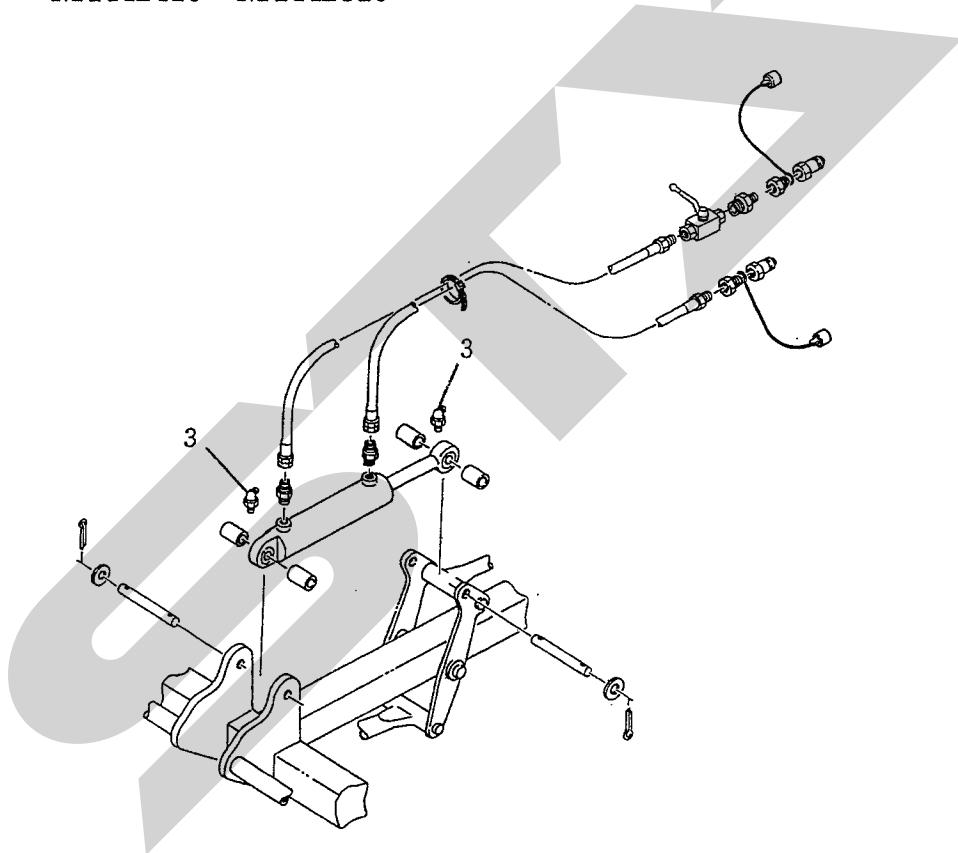
○給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。





MTH2410・MTH2810



MTH2400・MTH2800

No.	給油場所	箇所	潤滑油の種類	交換時期	量	備考
1	メタルケース	8	グリース	使用毎	適量	給脂
2	ギャング角調節装置 (手動式)	MTH2410 MTH2810 2	"	シーズン毎	"	"
3	ギャング角調節装置 (油圧式)	MTH2400 MTH2800 2	"	"	"	"

3 作業の仕方

1 本機の使用目的

本作業機は耕起後の碎土整地や牧草地表面の切断による草地再生等の作業に使用します。

他の用途には使用しないでください。

2 作業の要領

▲警告

- 作業機の上に人を乗せると、転落した時、円盤に巻き込まれ、ケガをする事があります。

作業機の上には、人を乗せないでください。

碎土・整地作業は、その後の作業に直接影響するので、できるだけ、ていねいに行なってください。

しかし、プラウイングの様に一定の形で作業する必要はなく、プラウによって耕起したほ場を碎土・整地すれば良いわけですから、一度通過した所を再び通過しても差し支えありません。

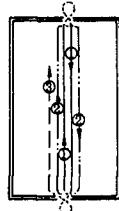
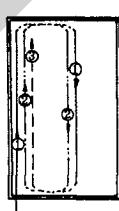
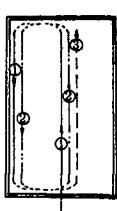
作業速度は通常 5~10km/hr 程度で作業します。

1. 碎土法

(1) 一般的碎土法

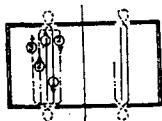
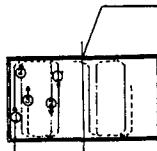
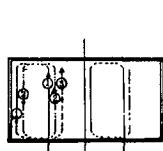
通常行われている方法としては①の縦掛け碎土法と②の横掛け碎土法とがあります。

① 縦掛け碎土法（れき条と平行して作業する）



② 横掛け碎土法

仮想の仕切り線を設けて圃場を分割して作業をすると能率的です。



プラウイングを行なってれき条が互に重なり合っている場合には、先ず最初はれき条と平行してハローイングを行います。この方法が縦掛けです。

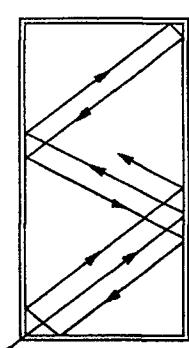
この場合、前回通過した作業巾のうちには、前部・後部ギャングで、ともに攪拌された土壤と、前部ギャング又は後部ギャングのみで攪拌された土壤がありますが、次の通過の際は先のハローイングで後部ギャングのみで攪拌された土壤と、前部ギャングのみで攪拌されようとする土壤とを重ねる様に順次行なって行きます。

この方法で、結局同一地表面が前部・後部ギャングで各1回攪拌されたことになります。この方法によって、れき条の重なりにより生じた空間を埋めて地表面を平坦にすると同時に畝の生成が防止され、また、れき条の反転を抑えて次の横掛けの際のトラクタの動搖をしづめ、ハローイングを容易にします。

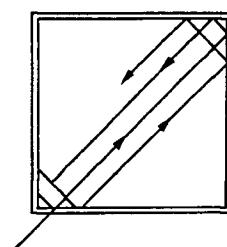
縦掛けが完了したならば、次にこれと直角の方向にハローイングします。この方法も縦掛けと同様に作業を進めて行きますが、横掛けの場合は、ほ場の長辺を2~3に区切り、その区画された部分を次々にハローイングすると能率的です。結局、ほ場は合計2回ハローを掛けたことになり、この方法で十分碎土されます。

ほ場の形状が長方形に近いようなところでは、縦掛けを行なった後で図のジグザグ掛け、正方形に近いようなところでは図の対角線掛けを行なうと碎土効果が大きいといわれております。

ジグザグ碎土法
(長方形圃場の場合)



対角線碎土法
(正方形圃場の場合)



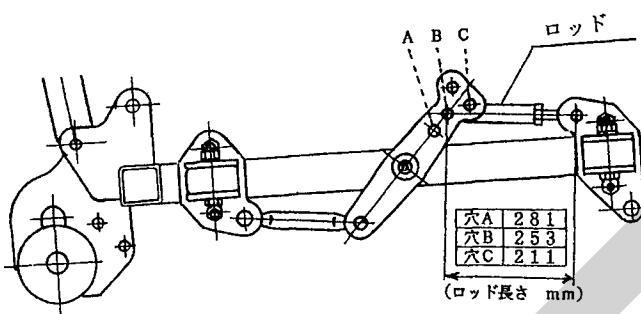
3 各部の調整

(1) ギヤング角度の調節

- 前後のギヤング角度は、油圧式及びスクリュー式共 0° ~ 20° まで調節できます。

- タンデムハローでは、前のギヤング角度を、後ろより大きくして使用します。本作業機では前ギヤングに対する後ギヤングの角度比を3段階に調節できます。

調節穴A→B→Cと入れ換えることにより、後ろのギヤング角度が大きくなります。各穴に対応するロッドの長さも、同時に調節してください。

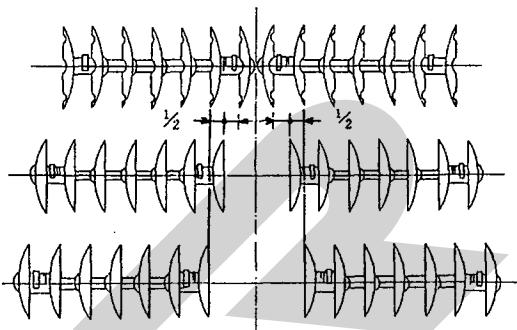


- ギヤング角度の変化により円盤の貫入深さ、土の移動量が変わるので、圃場条件に応じて調節してください。一般的には、

- ギヤング角度が小さいと、円盤の貫入深さは浅くなり、土の移動量は少なくなります。
- ギヤング角度が大きいと、円盤の貫入深さは深くなり、土の移動量は多くなります。

(2) ギヤングの水平方向の調節

- 作業跡が均平にならない時、あるいは土を片側に寄せたい時は、後ギヤングをスライドさせ調節することができます。
- ギヤングマスト取付ボルトを緩め、ギヤングを外側に引き出す要領で移動させます。(左右各々、円盤間隔の $1/2$ が移動できます。)



(3) 円盤作用深さの調節

- 一般的には、円盤直径の $1/3$ 程度が土中に入るように調節してください。過度の深がけは不要です。
 - 通常、前ディスクと後ディスクは同程度の耕深で作業しますが、使用目的、条件に応じてトップリンクを伸縮して、前後の深さを調節します。
- トップリンクを短くすると前ディスクは深くなり、後ディスクは浅くなります。

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている土砂等は、は場の中できれいに取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類のゆるみ、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルト増し締め、部品の交換をしてください。
3. 円盤に緩みがないか。ギャングナットの締付を確認してください。
4. ギャングメタルに給油を行い、汚れたグリースが押し出されるまで注入します。押し出されたグリースは、直に乾布で拭き取ってください。

2 トラクタからの切り離し

1. トラクタの油圧レバーを操作して円盤を接地させてください。
2. トラクタの油圧取出口からカプラを取りはずしてください。〈MTH2400・MTH2800〉
3. トップリンクをはずし、左右のロワーリンクをはずします。

3 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 純正箇所一覧表に基づき、油脂を補給してください。
4. 塗装損傷部の補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。特に円盤は乾布で良く拭き、グリースを塗布してください。
5. 地盤のかたい平坦な場所に保管してください。
6. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。
7. やむを得ず屋外に保管するときは、シートをかけてください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業を行えるようにしてください。

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

1 点検整備一覧表

時 間	点 檢 項 目	処 置
新品使用1時間	全てのボルト・ナットのゆるみ	増締め
作業前 作業後	①機械の清掃 ②油圧系統油漏れ ③ボルト・ナットのゆるみ脱落 ④円盤のゆるみ ⑤各部の油脂類	補修又は部品交換 増締め 部品補給 ギャングナットの増締め 「2-3給油箇所一覧表」に基づき給油
シーズン終了後	①各部の破損・摩耗 ②各部の清掃 ③各部の給油 ④塗装破損部	早めの部品交換 給油項目に基づき給油 塗装または油塗布

6 不調時の対応

機械の調子が悪いときは、エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてから「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

▲注意

- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業機を上げた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります。下に入る時は、台などで落下防止をして行ってください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
円盤が回らない 軸受に熱を持つ	軸受の給油不足	給油して汚れたグリースを押し出す
円盤部より異音がする	円盤にガタが出たため スクレーパに当たる	ギャングナットを増し締める
円盤に土が付く	スクレーパの摩耗の為 作用が低下する	スクレーパの位置を調整する スクレーパを交換する

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（　　〃　　）
- ⑤ 個数（　　〃　　）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「④付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属しております。

(例)

見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	92602	シャフト	④付
2	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

(例) BZ0815A (G)

A ; ナット・スプリングワッシャ付

D ; ナット2個付

N ; ナット付

P ; ワッシャ付

W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

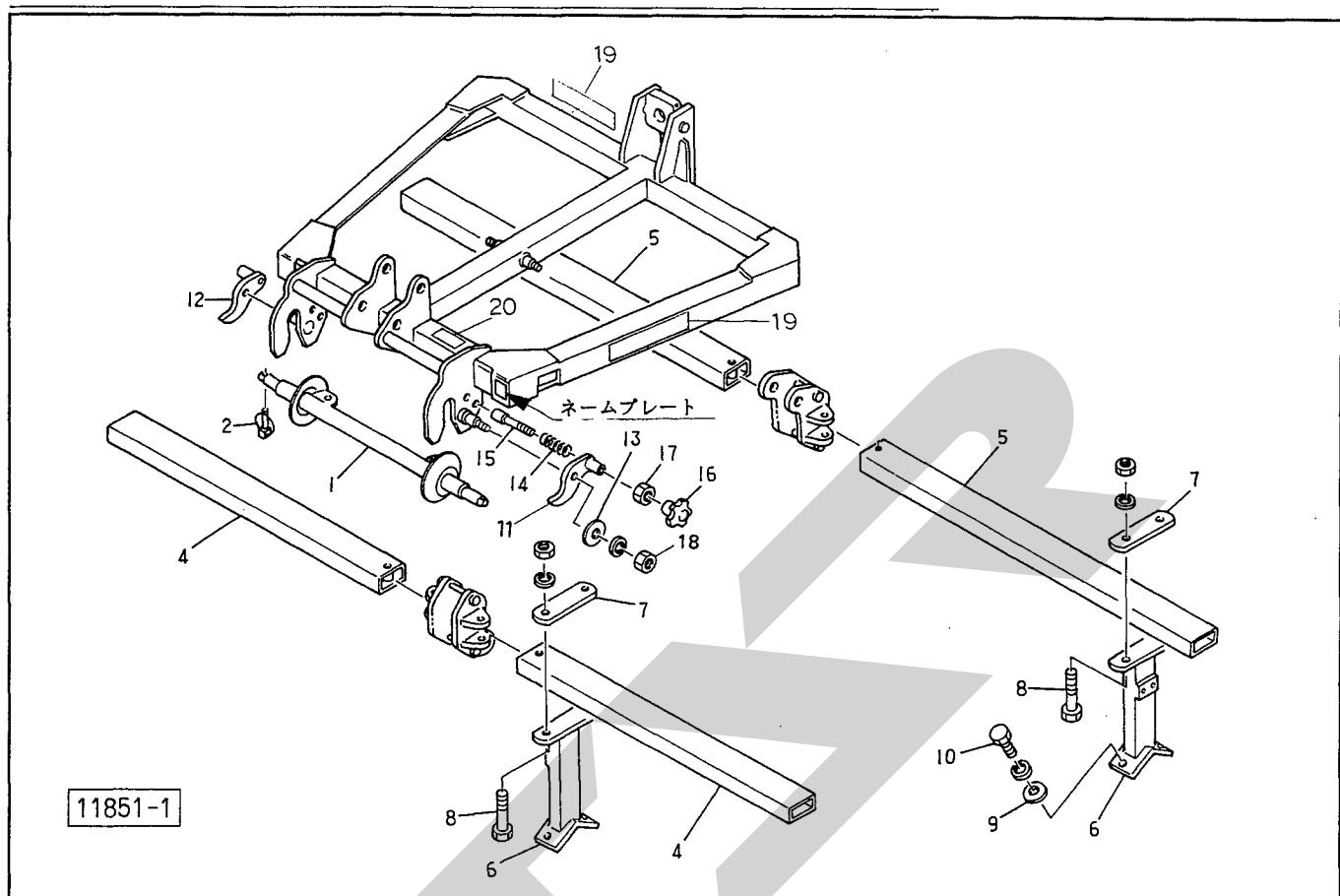
□…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

□…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

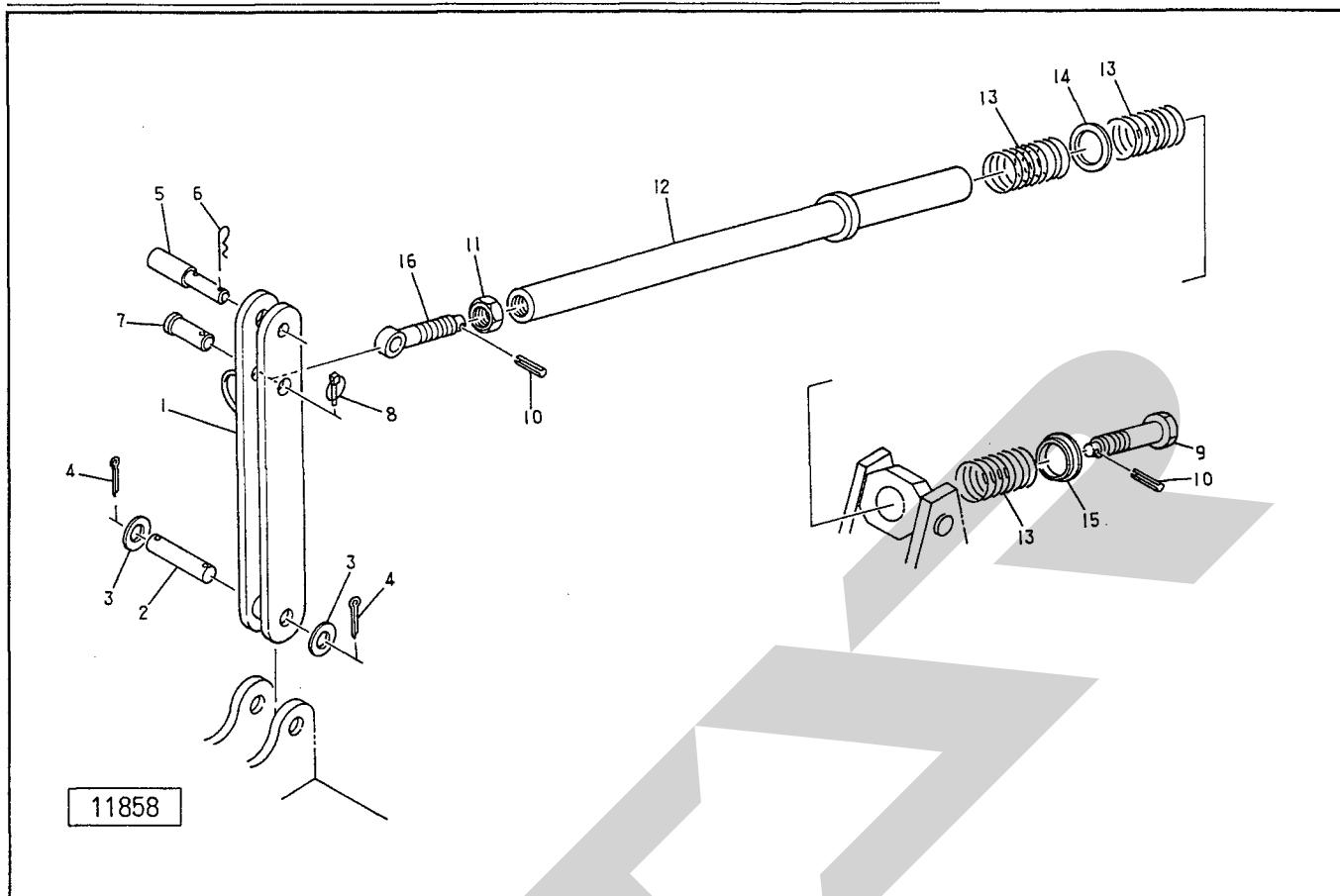
補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は納期および価格についてご相談させていただきます。

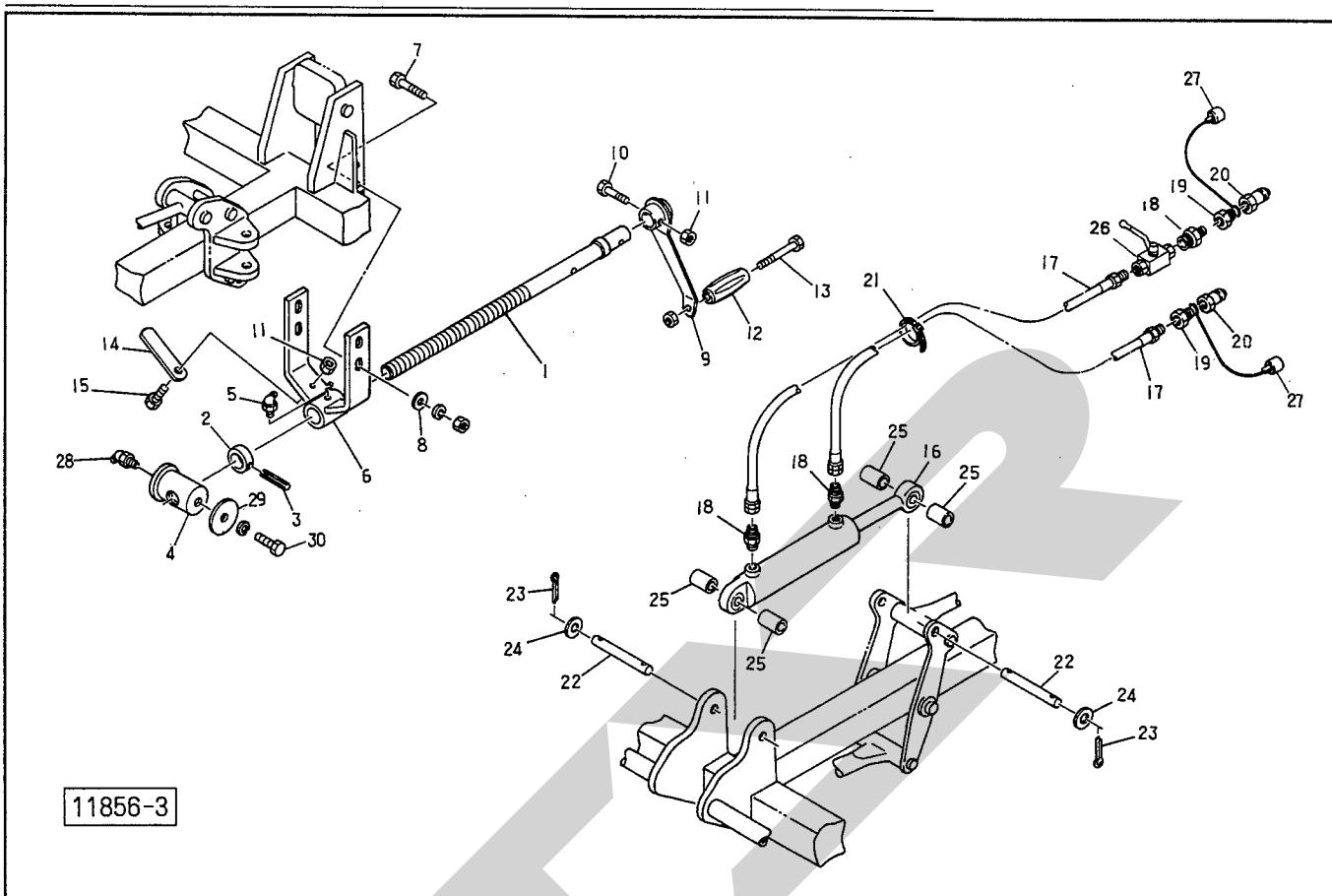


見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	87446	ツールバー	☆	1			
	86662	ツールバー；II	★	1			
2	00739	リングチップ；9		2			
4	88132	ギャングフレーム；A	☆	2			
	88097	ギャングフレーム；B	★	2			
5	88097	ギャングフレーム；B	☆	2			
	88098	ギャングフレーム；C	★	2			
6	88099	ギャングマスト		8			
7	88100	プレート		8			
8	BZ20110AG	ボルト；M20×110 (8.8)		16			
9	00761	ワッシャ；16		16			
10	BZ1645WG	ボルト； M16×45 (8.8)		16			
11	86658	フック；L		1			
12	86659	フック；R		1			
13	86661	プレート		2			
14	78897	スプリング		2			
15	66739	ロックピン		2			
16	00691	ニギリ； M12		2			
17	NZ12G	ナット； M12 (8)		2			
18	NZ20WG	ナット； M20 (8)		2			
19	00836	S T A Rマークラベル；40シロ		2			
20	106164	ラベル；ケイコク 1		1			

☆ : MTH2400, 2410用

★ : MTH2800, 2810用

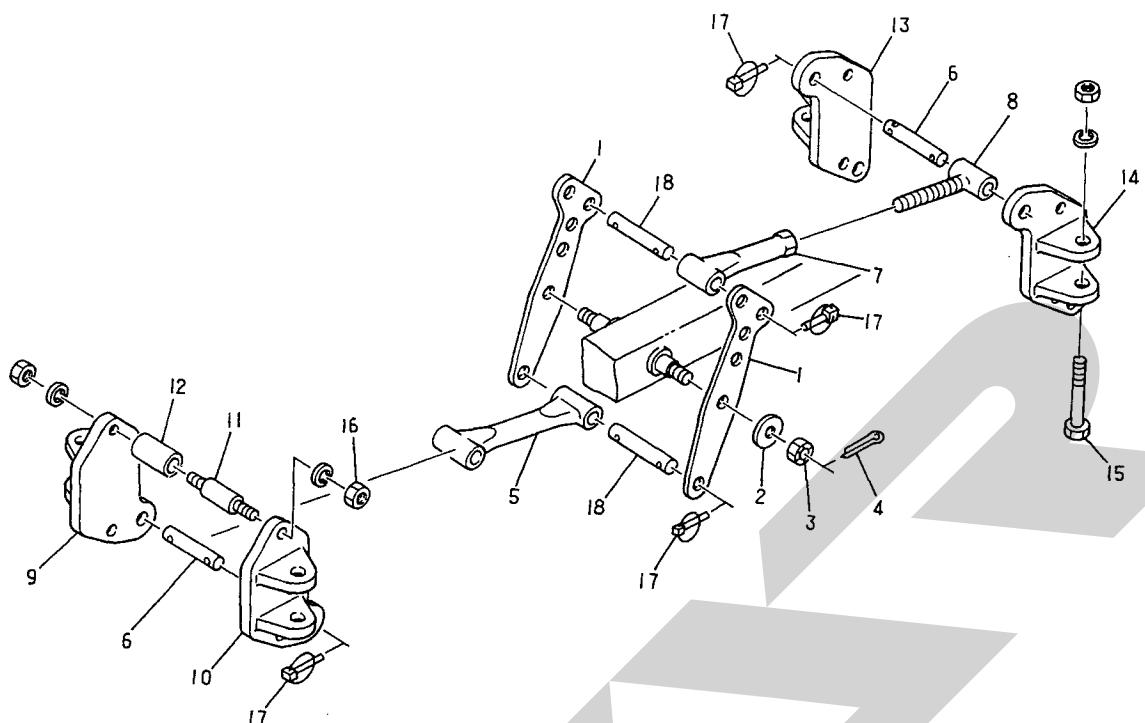




見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	88134	スクリューシャフト △	1	26	79458	ストップバルブ；1/4	1
2	35712	カラー (見) 3付 △	1	27	00778	カブラキャップ；1/2	2
3	PS8040	スプリングピン；8×40 △	1	28	ONBS1	グリースニップル；B-PT1/8	1
4	93303	スクリューナット (見) 5付 △	1	29	93304	ザガネ	1
5	ONBS6	グリースニップル；B-M6×1F △	1	30	BZ1225WG	ボルト；M12×25(8.8)	1
6	88136	スクリューブラケット (見) 5付 △	1				
7	BZ1650AG	ボルト；M16×50 (8.8) △	4				
8	42322	ワッシャ；16 △	4				
9	88137	ハンドル △	1				
10	BZ0860G	ボルト；M8×60 (8.8) △	1				
11	NN08G	ナイロンナット；M8 △	2				
12	24118	グリップ △	1				
13	BZ12100NG	ボルト；M12×100 (8.8) △	1				
14	88138	ステー △	1				
15	BZ0835G	ボルト；M8×35 (8.8) △	1				
16	88115	シリンダ；CWP45×210×410 ▲	1				
17	81230	ユアツホース；1/4×1600 ▲	2				
18	KN20	ニップル；1/4 ▲	3				
19	KB4020	ブッシング；1/2×1/4 ▲	2				
20	CLF40M	カブラ（オス）；1/2 ▲	2				
21	ILT50L	インシュロック；T50L ▲	2				
22	87657	ピン；φ25×140 (見) 23付 ▲	2				
23	PC5036G	ワリピン；5×36 ▲	4				
24	60807	ワッシャ ▲	4				
25	88114	カラー ▲	4				

△ : MTH2410, 2810用

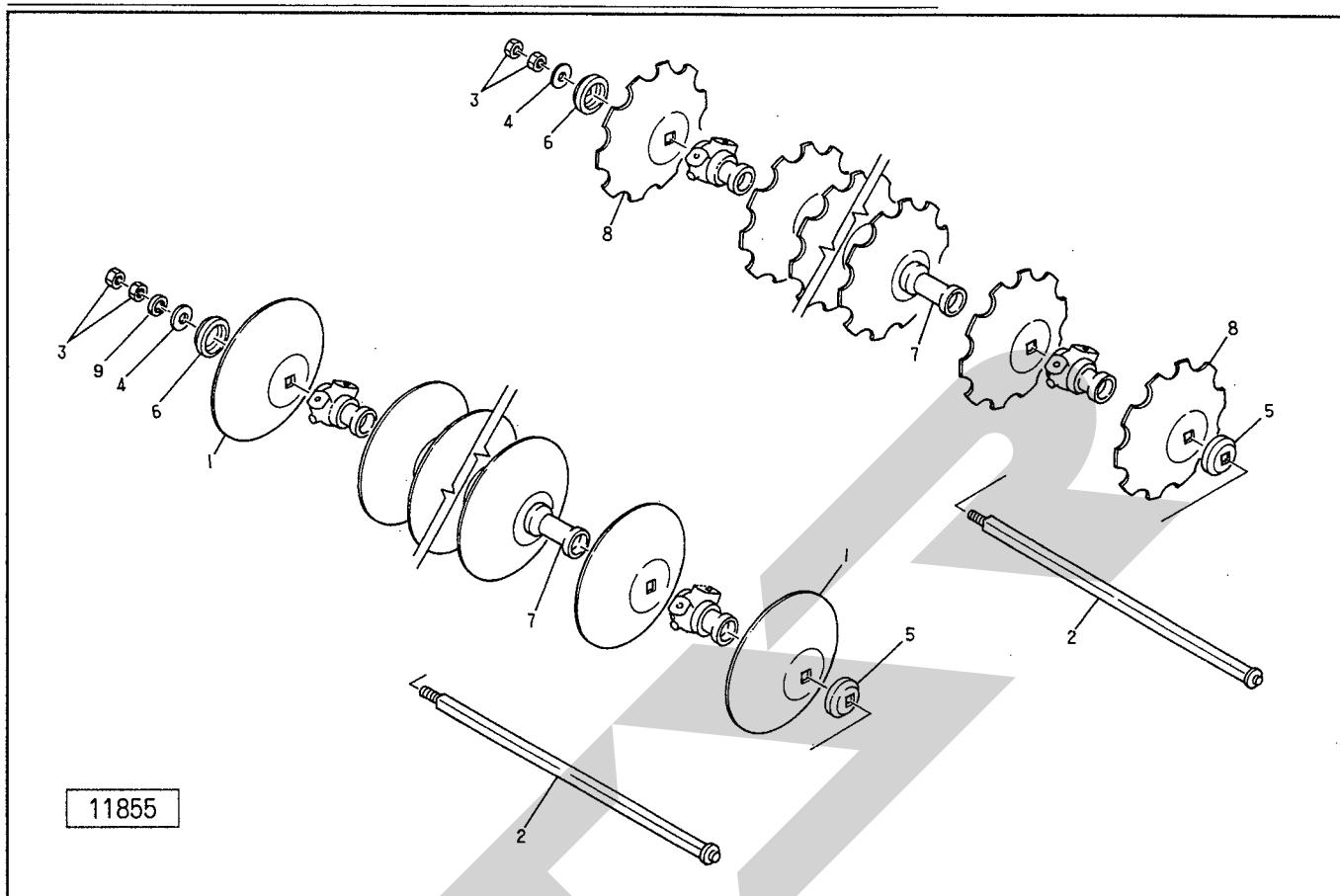
▲MTH2400, 2800用



11852

MTH2400・2410・2800・2810
ギャング(丸・花)

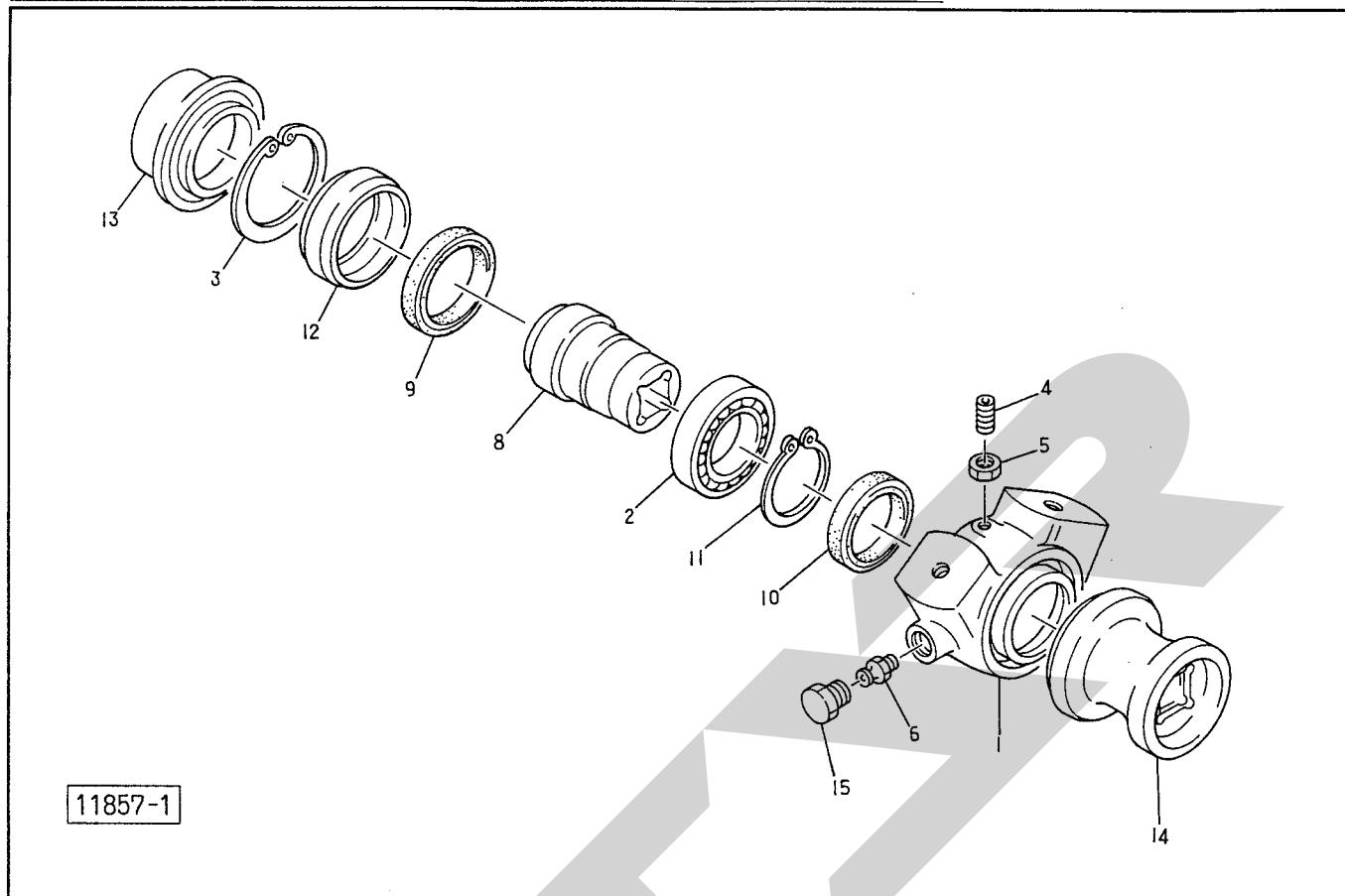
ディスクハロー

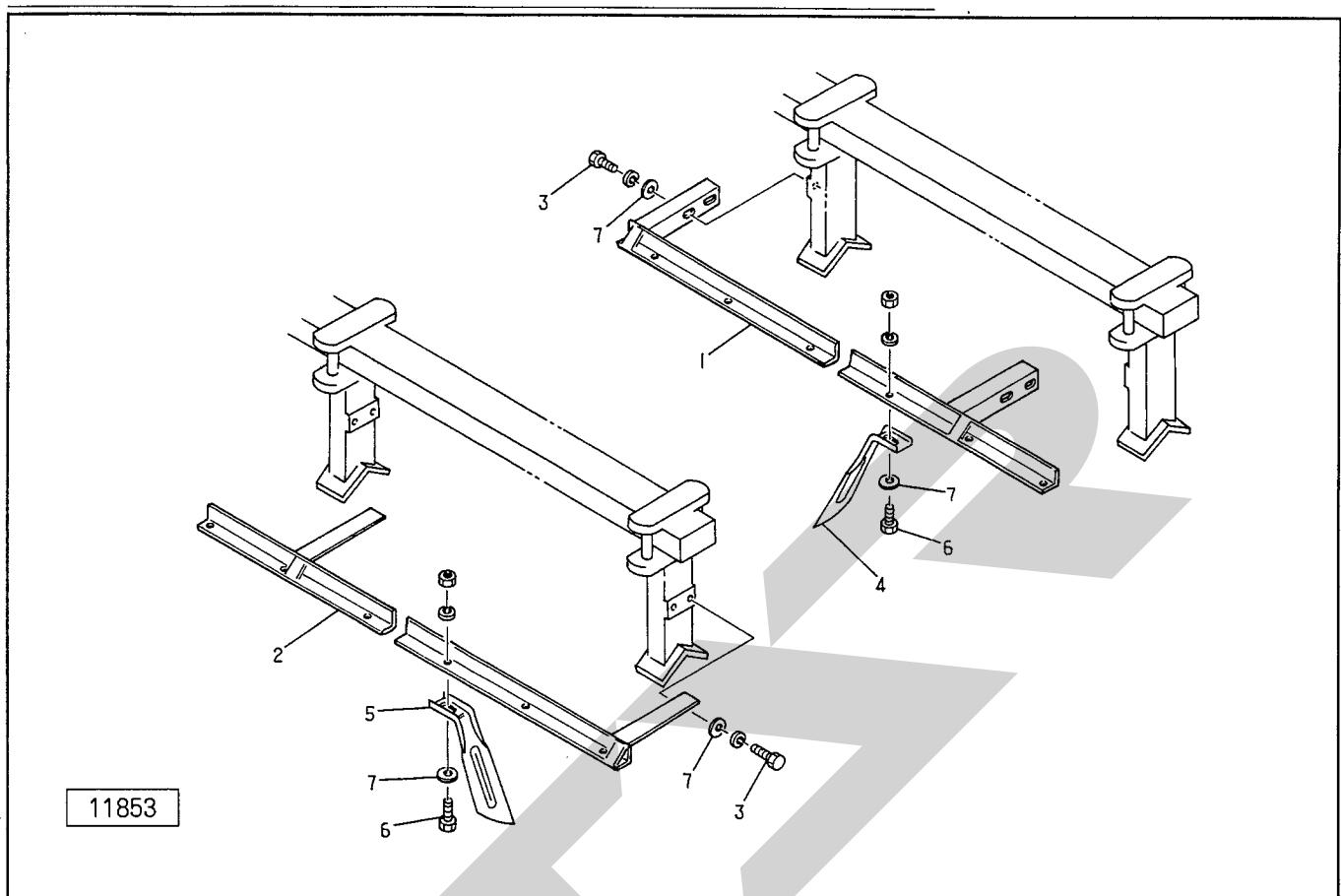


☆ : MTH2400, 2410用

★ : MTH2800, 2810用

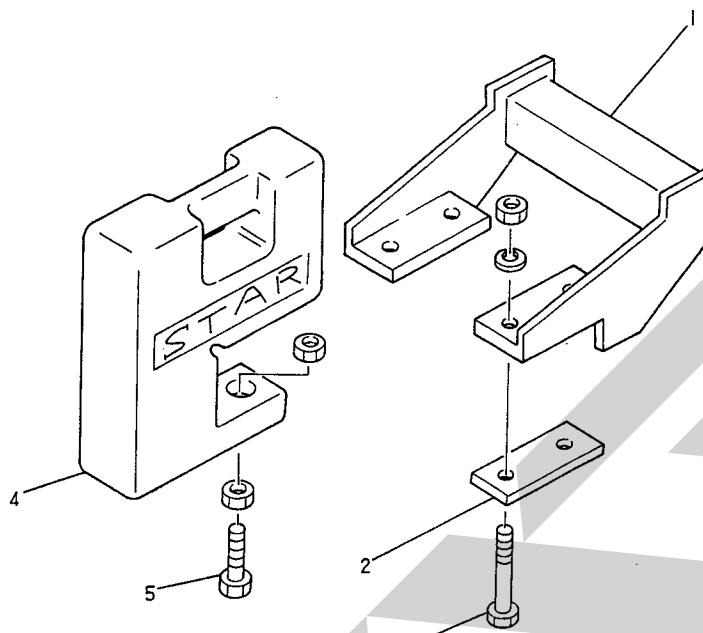
ギャングメタル



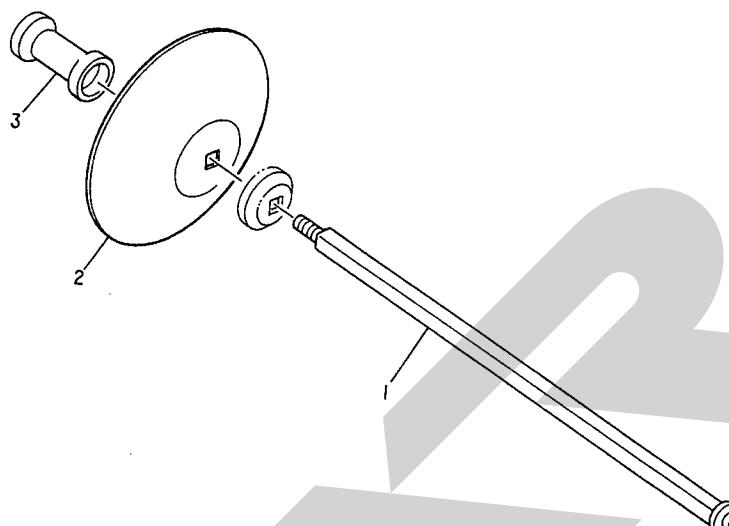


☆ : MTH2400, 2410用

★ : MTH2800, 2810用



11854



11859

本 社	066	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-26-1123 FAX 0123-26-2412
千歳営業所	066	千歳市上長都 1061 番地 2 TEL 0123-22-5131 FAX 0123-26-2035
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁目3番31号 TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-8985
豊富出張所	098-41	天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地 TEL 0162-82-1932 FAX 0162-82-1696
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北 1丁目12番地 TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-5187
北見出張所	090	北見市小泉 302 TEL 0157-24-3880 FAX 0157-61-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町北町2丁目16番2 TEL 01537-2-2624 FAX 01537-3-2540
花巻営業所	025-03	岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1 TEL 0198-26-5741 FAX 0198-26-5746
仙台営業所	985	宮城県多賀城市町前2丁目87番地 TEL 022-367-4573 FAX 022-367-4846
小山営業所	307-02	栃木県小山市梁2512-1 TEL 0285-49-1500 FAX 0285-49-1560
名古屋営業所	480-01	愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191 TEL 0587-93-6888 FAX 0587-93-5416
岡山営業所	700	岡山県岡山市下中野704-103 TEL 086-243-1147 FAX 086-243-1269
熊本営業所	862	熊本県熊本市長嶺町2255-429 TEL 096-381-7222 FAX 096-384-3525
都城営業所	885	宮崎県都城市都北町3537-1 TEL 0986-38-1045 FAX 0986-38-4644